

鯖 監 第 3 4 1 号
令和5年12月26日

鯖江市長 佐々木 勝 久 殿

鯖江市監査委員 加 藤 一 邦

鯖江市監査委員 石 川 修

財政援助団体等監査結果報告

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第7項の規定に基づき、財政援助団体等監査を実施したので、同条第9項に規定する監査の結果を報告する。

記

第1 監査の概要

- 1 監査の種類 財政援助団体等監査
- 2 監査対象 (1)補助金等の名称：鯖江市シルバー人材センター運営事業補助金
(2)財政援助団体：公益社団法人 鯖江市シルバー人材センター
(3)所 管 課：産業環境部商工観光課
- 3 事前調査期間 令和5年12月4日から令和5年12月18日まで
- 4 監査実施日 令和5年12月18日（月）
- 5 監査対象年度 令和4年度
- 6 監査対象事項 補助金等に係る出納その他の事務
- 7 監査の方法および着眼点

監査の実施にあたっては、補助金等に係る出納その他の事務の執行が、法令等に従い、適正かつ効率的に執行されているかについて、次の項目を主な着眼点とし、関係資料の提出を求め、諸帳簿等について調査するとともに、関係職員等から説明を聴取するなどの方法により実施した。

○所管部局関係

- (1) 補助金等の決定は法令等に適合しているか。補助金等交付要綱は整備されているか。
- (2) 補助金等の交付目的および補助対象事業の内容は明確か。公益上の必要性は十分か。
- (3) 補助金等の額の決定、交付方法、時期、手続等は適正か。補助対象経費は明確か。
- (4) 財政的援助が既得権益化していないか。社会情勢に合わせて見直されているか。
- (5) 補助金等の効果および条件の履行確認は、実績報告書等によりなされているか。
- (6) 財政援助団体への指導監督は適切に行われているか。
- (7) 補助金等の交付目的や効果等から判断して、統合、廃止等の見直しの必要はないか。

○財政援助団体関係

- (1) 監事監査が適正に実施されているか。
- (2) 事業は交付条件に従って実施され、十分効果が上げられているか。
- (3) 出納関係帳票の整備、記帳は適正か。領収書等の証拠書類の整備、保存は適切か。
- (4) 補助金等に係る収支の会計経理は適正か。会計処理上の責任体制は確立されているか。
- (5) 現金管理、公印の管理等が適切に行われているか。
- (6) 精算報告（実績報告）は適正に行われているか。

第2 監査対象の概要

1 財政援助団体の名称および代表者

名 称	公益社団法人 鯖江市シルバー人材センター
代 表 者	理事長 山本 信英

2 補助金の概要

補助金等の名称	鯖江市シルバー人材センター運営事業補助金 〔高年齢者等労働あっ旋事業補助金〕
補助金等の額	12,590,000円（令和4年度）
補助金等交付の目的	シルバー人材センターの運営に助成し、もって労働行政の振興に寄与する。

第3 監査の結果

補助金等に係る出納その他の事務の執行状況および所管課の財政援助団体に対する指導状況等について監査を実施した範囲において、一部の改善事項等を除き、概ね適正に執行されていると認められた。なお、指摘事項等については次のとおりである。

1 指摘事項

特記すべき事項なし

2 改善事項

(1) 備品管理について【財政援助団体】

固定資産の減価償却備品と物品の備品の区分けを会計処理規程に従い整理し、適正な執行および管理に努められたい。

(2) 経理処理における注意点について【財政援助団体】

伝票処理において、受領印および検収印の押印漏れ、科目相違および日付誤り等が見受けられる。決裁時におけるダブルチェック体制の強化や経理システムの見直し等により、適正な経理処理を図られたい。

3 意見

今後とも、就業機会の確保や会員増強に努められ、就業者の健康管理や安全作業の徹底を図りながら、安定したシルバー人材センターの運営により高齢者が社会で生き生き活躍する社会の実現に向けて取り組まれたい。